

■ 整体観念：人と自然は統一体

→ 人体(組織/器官)は異なる機能をもちながら、同時に全体として機能する有機体(統一体)

天人合一思想 (天人相応)

- ・ 人と自然が一体であり、天(大宇宙・大自然)と人(小宇宙)は相応している。
- ・ 自然と人体は不可分であり、密接に関わり合いながら一つの生命体として存在している。
- ・ 人は自然の一部であり、人の中にもまた自然が存在している。
- ・ 人体の形と機能が、天地自然と相応している。(例：天有風雨、人有喜怒)



陰陽学説

- ・ 陰と陽という対立する概念であらゆる事象を分類し、相互作用や盛衰、転化を考える理論。
- ・ 人体の構造、診断、治療等、全ての領域において基本的な考え方である。
- ・ 陰は暗く冷たく内向的な性質、陽は明るく暖かく外向的な性質を持つ。
- ・ 人体では、男は陽、女は陰、体表は陽、体内は陰といったように相対的に分類する。
- ・ 絶対的、固定的なものではなく相対的なもので、無限に分類可能。



五行学説

- ・ 自然界や人体の現象を「木・火・土・金・水」の5つの性質に分類し、相互関係を考える。
- 五臓(肝・心・脾・肺・腎)とそれぞれの五行が対応し、肝は「木」に属し、筋や感情(怒り)と関連。
- ・ 各臓器は自然の要素と結びつき、診断や治療において重要な役割を果たす。



天地人三才思想

天(自然)、地(環境)、人の三つが相互に影響し合い調和。
天の陽気と地の陰気との調和により、人の気が生成される。

虚実

虚：精気不足、機能低下
実：邪気旺盛、気血津液停滞
■ 補虚瀉実
→ 虚を補い、実を瀉す

標本

標：表に出る症状(例：風邪症状)
本：本質的な病態(例：体力の衰え)
■ 標本同治
■ 急則治標 ■ 緩則治本

個に対する治療

証：病の本質を表し
治療方針を示唆
(東洋医学の診断は治療法の選択)
= **診断即治療**